

災害への備え

～災害から身を守るために～

「地震、そのときに備えて」

【緊急地震速報が発表されても慌てずに、まず危険回避】



【緊急地震速報の受信】
「〇〇地方に強い揺れがきます」



強い揺れが来るまで数秒
から数十秒程度



【予め最善の行動を準備】
「身を守る行動をとる」

大きな家具は固定する



津波に対する心得

- 1 強い地震（震度4程度以上）を感じたとき、又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難。
- 2 地震を感じなくても、津波警報が発表されたときには、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難。
- 3 正しい情報をラジオ、テレビ、広報車などを通じて入手。
- 4 津波注意報でも、海水浴や磯釣りには危険なので行わない。
- 5 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめない。



(気象庁資料)

「風水害に備えて」

風水害に対する心得

- 1 気象情報(注意報・警報)に注意
テレビ・ラジオからの最新の情報(注意報・警報)を入手しましょう。
- 2 危険な場所に近づかない
○ 増水した小川や側溝、崖崩れが起こりやすい場所等にむやみに近づかないようにしましょう。
○ 高架下など、冠水しやすい場所を通行しないようにしましょう。
- 3 避難準備
避難勧告が出てからあわてないように、避難場所までの経路や避難指示の伝達方法や近所との協力体制等について確認しておきましょう。



避難経路を確認しましょう



必要なものを揃えておきましょう

- 4 危険が迫ったら
○ 危険を感じたり、避難の指示があったら、すばやく避難しましょう。
○ 避難の前に、必ず火の始末をしましょう。
○ 避難の際は、持ち物は最小限にし、背中に背負うなど、とっさに両手が自由に使えるようにしておきましょう。
○ 避難場所では自分勝手な判断や行動をせず、避難場所でのルールを守りましょう
○ 引き続き、大雨や強風等の情報(注意報・警報)に注意しましょう。

大牟田警察署 警備課